



催し物

ちゅうじょう

中條ていさん講演会 第2弾 「物語が生まれるプロセス」

図書館 ☎382-0347 📠382-4000

本市在住の作家中條ていさんに、作家になったきっかけや各作品執筆時のエピソード、作品のつくり方などのお話を伺います。

と き 2月16日(日)13時30分～15時(開場13時から)

ところ 文化会館さつきプラザ

定 員 200人(先着順)

参加料 無料

申込み 1月12日(日)9時から26日(日)17時までに申込みフォーム

または直接図書館本館へ

※詳しくは、図書館内に設置のポスター・チラシまたは図書館ウェブサイトをご覧ください。

※1人につき2人分まで申し込みできます。

※手話通訳があります。

申込み
フォーム



Suzuka POPコンテスト

図書館 ☎382-0347 📠382-4000

市立図書館にある本を紹介する手作りのポップ(郵便はがきサイズ)を募集します。おすすめの本を、あなたのことばやイラストを使って、アピールしてください。

対 象 市内在住・在学の小・中学生、高校生

募集期間 1月23日(木)まで(必着)

申込み 直接または郵送で図書館(〒513-0802 飯野寺家町812)へ

※直接の場合は応募用紙、郵送の場合は、はがき宛名面に必要事項を記入してください。

※応募用紙は、図書館または図書館ウェブサイトで購入できます。

※応募方法など詳しくは、チラシや図書館ウェブサイトをご覧ください。応募規定などを満たさないものは、選考外になります。

結果発表 3月5日(水)

※応募作品は返却しません。選考を通過した作品は、2月5日(水)から3月31日(月)までの間、図書館本館に展示するほか、図書館ウェブサイトや発行物への掲載などに使用場合があります。

認知症サポーター ステップアップ講座

長寿社会課 ☎382-9886 📠382-7607

認知症サポーターが、より知識を深めステップアップすることで、チームオレンジ鈴鹿として活動できるようになります。

※チームオレンジ鈴鹿とは、近隣の認知症サポーターがチームを組み、認知症の人や家族に対する早期からの地域支援などを行う取り組みです。

対 象 市内在住・在勤・在学で「認知症サポーター養成講座」を受講済みで、2日間の講座を受講できる方

と き 1月30日(木)9時30分～11時30分、2月6日(木)9時30分～12時

ところ 鈴鹿市社会福祉センター2階 大会議室(神戸地子町383-1)

講 師 真鈴川聡さん(ますずがわ神経内科クリニック院長)、山路由実子さん(鈴鹿医療科学大学准教授)

定 員 30人程度(先着順)

参加料 無料

申込み 1月24日(金)までに電話で鈴鹿市社会福祉センター認知症初期集中支援チーム(☎367-7770)へ

申込み
フォーム



あなたのビジネスを応援！ SNS・生成AI活用基礎講座

男女共同参画課 ☎381-3113 📠381-3119

さまざまな仕事において役に立つ、SNSと生成AIの基礎知識を学べます(2回連続講座)。

対象

- ・市内在住・在勤・在学の18歳以上の女性
- ・原則、両日参加が可能な方
- ・スマートフォンやパソコンの基本的な操作ができる方
- ・InstagramアカウントとGoogleアカウントをお持ちの方

講師 ノブ横地さん(AI検索診断士)

参加料 無料

定員 20人(先着順)

申込み 1月14日(火)9時から申込みフォームで

託児 5人(生後6カ月～未就学児、先着順、無料)

※2月7日(金)17時までには、男女共同参画課へお申し込みください。

◆Instagramの活用による販路開拓講座

とき 2月26日(水)13時30分～15時

ところ 男女共同参画センター研修室1AB

内容 Instagramを効果的にビジネスに活かすために、その仕組みや業務活用方法を学びます。

※当日はご自身のスマートフォンをお持ちください。

◆生成AIの現状とGoogleAI「Gemini」入門講座

とき 3月5日(水)13時30分～15時

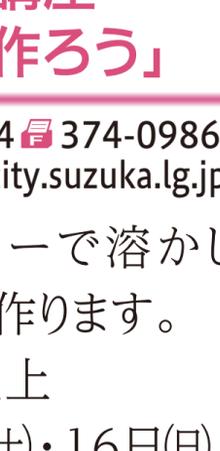
ところ 男女共同参画センター研修室1AB

内容 パソコンを使って生成AIの仕組みや業務活用方法について学びます。

※パソコンは用意します。

※両講座を受講された方には、求職活動証明書を発行します。

申込み
フォーム



寺院・官衙シリーズ講演会

「教えて 郎女さん！ -奈良時代のキャリア ウーマンの暮らし-」

考古博物館 ☎374-1994 📠374-0986

奈良時代の女性の仕事や生活について講演します。

とき 1月26日(日)14時から(受付13時30分から)

ところ 考古博物館 講堂

講師 佐紀郎女さん

定員 50人(先着順)

聴講料 無料

※参加者は、当日のみ常設展・企画展を無料で観覧できます。

申込み 当日同館窓口で

体験特別講座 「とんぼ玉を作ろう」

考古博物館 ☎374-1994 📠374-0986

📧kokohakubutsukan@city.suzuka.lg.jp

ガラスをバーナーで溶かして、とんぼ玉を2個作ります。

対象 中学生以上

とき 2月15日(土)・16日(日)

- ・午前の部：9時15分から
- ・昼の部：11時30分から
- ・午後の部：14時から

ところ 考古博物館 展示ホール

講師 安藤邦江さん(ガラス工芸職人)

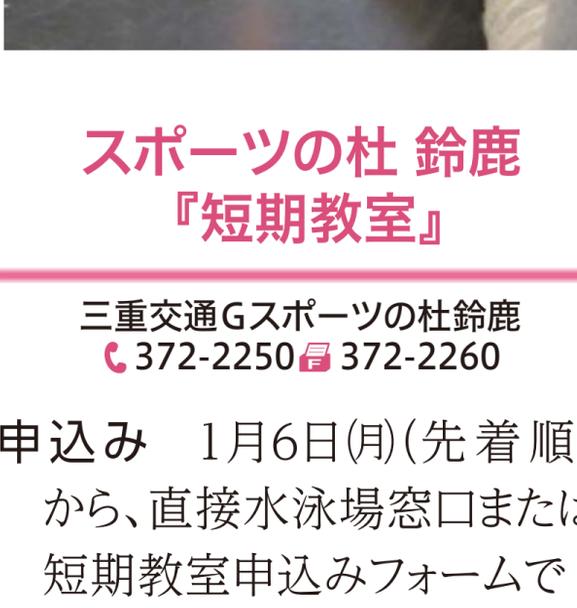
定員 各6人(応募者多数の場合は抽選)

参加料 3,000円

※ストラップとネックレスに仕上げる材料費を含みます。

申込み 1月24日(金)まで(必着)に、講座名・希望時間(第2希望まで)・住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号を記入の上、ファクス、はがきまたは電子メールで考古博物館(〒513-0013 国分町224)へ

※1回で2人まで申し込みできます。



スポーツの杜 鈴鹿 『短期教室』

三重交通Gスポーツの杜鈴鹿
☎372-2250 📠372-2260

申込み 1月6日(月)(先着順)から、直接水泳場窓口または短期教室申込みフォームで

問合せ SSGスポーツクラブ(☎392-7071 土・日曜日、祝日除く9時～20時)

名称	対象	日程	時間	ところ	定員	参加料(税込)	持ち物
さほんのヨガ	18歳以上の女性	2月5日(水)	11時～12時	水泳場会議室	15人	1,100円	ヨガマット
ウォーキングエアロ	18歳以上の方	2月10日(月)	13時～14時	水泳場スタジオ	20人		室内シューズ
チェアヨガ&チェアバドミントン		2月12日(水)					水泳場会議室
美ボディトレーニング	18歳以上の女性	2月18日(水)	11時～12時	水泳場会議室	15人	1,450円	ヨガマット
いやしのヨガ	18歳以上の女性	2月19日(木)	13時～14時	水泳場スタジオ	15人		-
運動と英語のソーfie教室	未就学児(1～3歳)と保護者	2月25日(水)	11時～12時	水泳場会議室	15組	1,450円	-

短期教室
申込みフォーム

上級救命講習受講者募集

中央消防署 ☎382-9164 📠382-3905

対象 市内在住・在勤の中学生以上の方

とき 2月16日(日)9時~18時
※昼休憩が1時間あります。

ところ 中央消防署4階 多目的室内
内容 応急手当の重要性、成人・小児・乳児の心肺蘇生法の習得、AEDの取り扱い要領、異物除去法、止血法、傷病者の管理法、搬送法 など

※後日、修了証を発行します。

定員 20人(先着順)

参加料 無料

※動きやすい服装、筆記用具、ハンカチ(タオル可)を用意してください。昼食や飲み物なども各自で準備してください。

※当日、発熱や体調不良の場合は、受講を控えてください。

問合せ・申込み 1月21日(火)9時から、直接または電話で中央消防署へ

三重県警察年頭視閲式

交通防犯課 ☎382-9022 📠382-7603

とき 1月22日(水)10時~12時

ところ メッセウイングNHW(津市北河路町19-1)

- ・式典：屋内展示場
- ・イベント：南側駐車場

内容

- ・式典：警察本部長による部隊視閲、各種部隊の行進、車両の出動 など
- ・イベント：白バイ走行展示(雨天中止)、音楽隊ミニコンサート、警察車両の展示 など

※観覧席に限りがあるため、入場制限をする場合があります。

※内容の一部を変更する場合があります。

問合せ 三重県警察本部警務課(☎059-222-0110)

鈴鹿市立小・中学校書写展

教育指導課 ☎382-9028 📠383-7878

とき 1月18日(土)~20日(月)10時~17時(最終日は14時まで)

ところ イオンモール鈴鹿2階 イオンホール

入場料 無料

転入ママのつどい

子ども政策課 ☎382-7661 📠382-9054

転入ママならではの悩みを共有したり、お子さんを遊ばせたりして、気軽に話せる子育て仲間をつくりましょう。

対象 市内に転入して来た就学前のお子さんをもつ保護者

とき ①1月21日(火)10時~11時30分(交流会)、②1月28日(火)9時~11時30分

※②は①に参加した方を対象とした自由参加です。

ところ 図書館 江島分館

定員 10人程度(先着順)

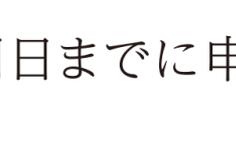
参加料 無料

※託児はありませんので、お子さんと一緒に参加ください。

申込み 1月9日(木)から17日(金)までに、申込みフォームで

申込み

フォーム



公開講座「管理栄養士国家試験準備講座」

総合政策課 ☎382-9038 📠382-9040

対象 栄養士免許をお持ちの方

ところ 鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部(郡山町663-222)

定員 なし(最少13人)

受講料 各日1,000円

申込み 各申込期日までに申込みフォームで

問合せ 鈴鹿大学・鈴鹿大学短期大学部(総務・財務課 ☎372-2121 📧soumu@suzuka.ac.jp)

◆基礎栄養学・応用栄養学、応用問題

とき 2月8日(土)10時~12時10分

講師 梅原頼子うめはらよりこさん(鈴鹿大学短期大学部教授)、福永峰子ふくながみねこさん(鈴鹿大学短期大学部教授)

申込期日 1月31日(金)

◆人体の構造と機能、生化学

とき 2月15日(土)10時~12時10分

講師 櫻井秀樹さくらいひできさん(鈴鹿大学短期大学部教授)、木下麻衣きのしたまいさん(鈴鹿大学短期大学部准教授)

申込期日 2月7日(金)

申込み

フォーム

糖尿病予防教室～血糖値が 気になりはじめたら～

地域医療推進課 ☎327-5030 ☎384-5670

健康診断などで「糖尿病の
気がある」と言われたら、これま
での生活習慣を見直すことが
大切です。楽しいワークや体験
を交え糖尿病予防のコツをお
伝えします。

対 象 市内在住の40歳から
69歳までで、血糖値が高めと
いわれたことがある方

※糖尿病の方や持病で受診中
の方は、主治医に確認の上申し
込みください。

※3回とも参加できる方を優先します。

※家族も参加できます。

と き

○基礎・栄養編：2月5日(水)10
時～11時30分

○運動編：2月17日(月)10時～
11時30分

○実践編：2月25日(火)10時～
12時30分(糖尿病予防のため
の昼食付き)

ところ 保健センター

定 員 20人(先着順)

参加料

○基礎・栄養編、運動編：無料

○実践編：400円

申込み 1月9日(木)8時30分
から、電話で地域医療推進課へ

美シリ(知り)メイク講座 ～更年期を上手に 乗り越えるために～

地域医療推進課 ☎327-5030 ☎384-5670

女性ホルモンの分泌が急速
に減少する更年期は、心身の
不調が生じやすい時期です。女
性特有の病気とその予防方法
を学びましょう。

対 象 市内在住の30歳から
59歳までの女性

とき・内容 全2回

○講義編 2月6日(木)13時30分
～15時：助産師による更年期
や女性の健康についての講
話、簡易骨密度測定、骨折危
険度チェック

○運動編 3月3日(月)13時30分
～15時：運動体験(骨盤底筋
体操、冷え性などの不快症状
改善のための運動)

ところ 保健センター

定 員 20人(先着順)

参加料 無料

申込み 1月10日(金)8時30分
から、電話で地域医療推進
課へ

鈴鹿医療科学大学 市民 公開講座「体に負担の少ない ストレッチのすすめ」

地域医療推進課 ☎382-9291 ☎384-5670

痛みやすい首や腰に負担の
少ないストレッチ方法につい
て、身体運動学をもとにお話
します。運動不足の解消だけ
でなく、成長期のスポーツ障
がいの予防にも役立つ内容
です。

と き 2月11日(火・祝)10時
30分～11時30分(開場10時)

ところ 鈴鹿医療科学大学 千
代崎キャンパス B講義棟35
13教室(岸岡町1001-1、駐
車場有)

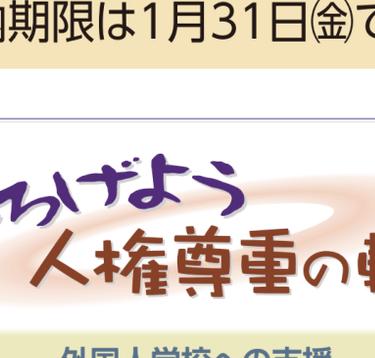
講 師 浅田啓嗣さん(鈴鹿
医療科学大学リハビリテー
ション学科教授)

定 員 100人程度

参加料 無料

申込み 不要

主催・問合せ 鈴鹿医療科学
大学(☎383-8991)



1月の納税・納付

○市民税・県民税…4期

○国民健康保険料…7期

【納期限は1月31日(金)です】

ひげよう 人権尊重の輪

外国人学校への支援

教育総務課 ☎382-7617 ☎383-7878 ☎kyoikusomu@city.suzuka.lg.jp

教育支援課 ☎382-9055 ☎382-9053 ☎kyoikushien@city.suzuka.lg.jp

人権政策課 ☎382-9011 ☎382-2214 ☎jinkenseisaku@city.suzuka.lg.jp

市内における外国人の人口は、令和5年12月末現在で9,784人(5,002世帯)に上り、総人口に占める割合は約5%となっています。県内では、四日市市、津市に続いて3番目に多く、全国的にみても本市は外国人が多い町です。

日本における外国人の子どもたちについては、国際人権規約などの規定を踏まえ、希望する場合は日本人の子どもたちと同様に公立の小・中学校へ無償で受け入れるなどの措置が講じられています。しかし、子どもや保護者の中には、母国と同様の教育を受けたい・受けさせたいとの希望から、母国の政府が認可した学校で学ぶ子どもたちもいます。

市内でも、外国人学校としてブラジル人学校があり、ここでは多くのブラジル国籍の子どもたちが本国のカリキュラムに基づいて学んでいます。しかし、その教育活動は、本国から教科書を取り寄せて使用するなど、非常に費用がかかり、保護者や学校にとって重い負担となっています。

このことから、教育を受ける権利の保障の一環として、経済的な負担を軽減するため、本市ではその運営費の一部を補助することで支援しています。

